

## 綾瀬市子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ～ ご協力のお願い ～

「就学前児童の保護者の皆様の声を参考とし、第2期綾瀬市子ども・子育て支援事業計画の策定を行うための重要な調査ですので、ぜひご協力をお願いいたします。」

平成30年11月

綾瀬市長

### <調査の趣旨>

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、国の指針に基づき全国の市町村で実施されます。

この調査票は、内閣府による「子ども・子育て会議」で作成された共通項目をベースとしながら、綾瀬市で作成しました。

調査結果は、個人を特定するものではなく、統計的に処理され、子ども・子育て支援の取り組みに活用されます。また、この回答がその他の目的に利用されることはありません。

この調査票は、就学前児童のいる全世帯に送付しています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

### <ご記入に当たっての注意点>

1. アンケートには、あて名のお子さんの保護者の方が、そのお子さんについて記入してください。  
(無記名ですので、氏名、住所の記入の必要はありません)
2. ご回答は、選択肢にをつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 質問によって、「すべてに」と指定されている場合は、該当する番号すべてにをつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
4. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後7時 19時)で記入してください。
5. 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

提出期限・・・同封の返信用封筒に入れて、平成30年12月25日(火)までにご投函ください。

調査票内の事業等の説明については、別添の『用語の説明』をご覧ください。

<お問い合わせ先>

綾瀬市健康こども部子育て支援課 子育て支援担当

電話 0467-77-1111(代表)内線2112・2115/0467-70-5664(直通)

## 回答するに当たってお読みください

綾瀬市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しております。（平成27年度から平成31年度までの計画で実施中）

本調査は、平成32年度から始まる第2期計画の中で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を綾瀬市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

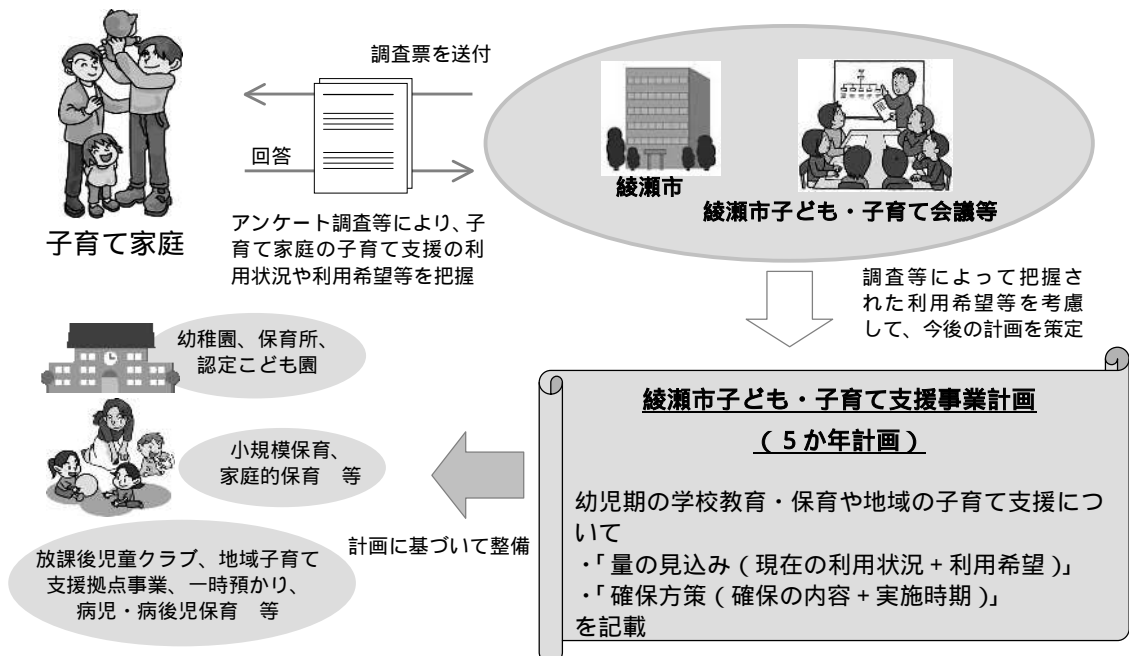
子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

## いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



## 1 お住まいの地域についてうかがいます。

すべての方についてうかがいます。

問1 お住まいの地域として当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

中央地域	1. 深谷中 5. 落合南	2. 深谷南 6. 本蓼川	3. 深谷上	4. 落合北
綾北地域	7. 蓼川	8. 大上	9. 厚木基地内	
寺尾地域	10. 寺尾北 14. 寺尾西	11. 寺尾台 15. 寺尾本町	12. 寺尾中 16. 寺尾南	13. 寺尾釜田
早園地域	17. 小園	18. 小園南	19. 早川	20. 早川城山
西部地域	21. 吉岡	22. 吉岡東	23. 綾西	
綾南地域	24. 上土棚北	25. 上土棚南	26. 上土棚中	

問2 お住まいの地域の小学校区・中学校区として当てはまる答えの番号それぞれ1つずつに をつけてください。

小学校区	1. 綾瀬小学校 4. 早園小学校 7. 北の台小学校 10. 寺尾小学校	2. 綾北小学校 5. 綾南小学校 8. 落合小学校	3. 綾西小学校 6. 天台小学校 9. 土棚小学校
中学校区	1. 綾瀬中学校 4. 北の台中学校	2. 綾北中学校 5. 春日台中学校	3. 城山中学校

## 2 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。( )内に数字でご記入ください。

平成 ( )年 ( )月生まれ

問4 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を( )内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数( )人 末子の生年月 平成( )年( )月生まれ

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 母親                      2. 父親                      3. その他( )

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 配偶者がいる                      2. 配偶者がいない

問7 宛名のお子さんの家庭での子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 父母ともに                      2. 主に母親                      3. 主に父親                      4. 主に祖父母  
5. その他( )

### 3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんを日中みている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |            |        |           |        |
|------------|--------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに   | 2. 母親  | 3. 父親     | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園     | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 |        |
| 8. その他 ( ) |        |           |        |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに をつけてください。

- |                      |       |        |        |
|----------------------|-------|--------|--------|
| 1. 家庭                | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 6. その他 ( ) |       |        |        |

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |                                    |   |        |
|------------------------------------|---|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } | 問10-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |   |        |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } | 問10-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |   |        |
| 5. いずれもない 問11へ                     |   |        |

問10-1 問10で「1.」または「2.」に つけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |   |   |      |
|---|---|------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ) | 問11へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |   |      |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |   |      |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |   |      |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |   |      |
| 6. その他 ( )  |   |      |

問10-2 問10で「3.」または「4.」に つけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ) |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である                           |   |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |   |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                    |   |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある               |   |
| 6. その他 ( )  |   |

すべての方にうかがいます。

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

- |            |         |             |       |
|------------|---------|-------------|-------|
| 1. いる / ある | 問 11-1へ | 2. いない / ない | 問 12へ |
|------------|---------|-------------|-------|

問 11- 1 問 11 で「 1.いる / ある」に をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |  |                  |                  |
|--|------------------|------------------|
| 1 . 祖父母等の親族                              | 2 . 友人や知人        | 3 . 近所の人         |
| 4 . 子育て支援施設（子育て支援センター、地域育児センター、児童館等）・NPO |                  |                  |
| 5 . 保健福祉プラザ（市）や保健福祉事務所（県）の保健師や栄養士        |                  |                  |
| 6 . 保育士                                  | 7 . 幼稚園教諭        | 8 . 民生委員・児童委員（ ） |
| 9 . かかりつけの医師                             | 10 . 市の子育て関連担当窓口 |                  |
| 11 . その他（                                |                  | ）                |

（ ）地域の世話役、各行政機関へのパイプ役として生活上の相談に応じてくれる民間の奉仕者

すべての方にうかがいます。

問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

#### 4 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（ 1 ）母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに をつけてください。

母親	父親
1 . フルタイム（ 1 週 5 日程度・ 1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1 . フルタイム（ 1 週 5 日程度・ 1 日 8 時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2 . フルタイム（ 1 週 5 日程度・ 1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2 . フルタイム（ 1 週 5 日程度・ 1 日 8 時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3 . パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3 . パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4 . パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4 . パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5 . 以前は就労していたが、現在は就労していない	5 . 以前は就労していたが、現在は就労していない
6 . これまで就労したことがない	6 . これまで就労したことがない

（ 1 ）- 1 （ 1 ）で「 1. ～ 4.」（就労している）に をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内に数字でご記入ください。

母親	父親
1 週当たり（ ）日	1 週当たり（ ）日
1 日当たり（ ）時間	1 日当たり（ ）時間

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。( )内に数字でご記入ください。

母親	父親
家を出る時刻( )時	家を出る時刻( )時
帰宅時刻( )時	帰宅時刻( )時

問14 問13の(1)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。  
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

母親	父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13(1)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに をつけ、該当する( )内には数字をご記入ください。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい希望する就労形態	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい希望する就労形態
ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
1週当たり( )日	1週当たり( )日
1日当たり( )時間	1日当たり( )時間



5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

すべての方へうかがいます。

ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問16-1に示した事業が含まれます。

問16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 利用している	問 16- 1 へ	2. 利用していない	問 16- 5 へ
-----------	-----------	------------	-----------

問16-1 問16-1～問16-4は、問16で「1.利用している」に をつけた方へうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の私設保育施設	10. 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ( )

問 16- 2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どれくらい利用していますか。また、希望としてはどれくらい利用したいですか。(問 16- 1 で複数選択した方は、その合計を記載してください。) 1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、( ) 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず (例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり ( ) 日	1 日当たり ( ) 時間 (( ) 時～( ) 時)
--------------	-----------------------------

(2) 希望

1 週当たり ( ) 日	1 日当たり ( ) 時間 (( ) 時～( ) 時)
--------------	-----------------------------

問16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 綾瀬市	2. 海老名市	3. 藤沢市	4. 大和市
5. 座間市	6. その他 ( )		

問16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある / 求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ )

問16-5 問16で「2. 利用していない」に をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ( \_\_\_\_\_歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ( )

すべての方にうかがいます。

問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 幼稚園<br>(通常就園時間の利用)                                    | 2. 幼稚園の預かり保育<br>(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)  |
| 3. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)    | 4. 認定こども園<br>(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)              |
| 5. 小規模な保育施設<br>(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) | 6. 家庭的保育<br>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)          |
| 7. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                        | 8. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| 9. その他の私設保育施設  | 10. 居宅訪問型保育<br>(保育者が子どもの家庭で保育する事業)             |
| 11. ファミリー・サポート・センター<br>(地域住民が子どもを預かる事業)                  | 12. その他<br>( )                                 |
| 13. 利用を希望しない   |  |



問17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 綾瀬市	2. 海老名市	3. 藤沢市	4. 大和市
5. 座間市	6. その他 ( )		

問17-2 問17で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に をつけ、かつ3～12にも をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

**6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。**

すべての方にうかがいます。

問18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「子育てサロン」等と呼ばれています）を利用していますか。

次の中から、利用されているものすべてに をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
・ 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
・ 3ヶ月当たり（ ）回 もしくは 6ヶ月当たり（ ）回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： ）
・ 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
・ 3ヶ月当たり（ ）回 もしくは 6ヶ月当たり（ ）回程度
3. 利用していない

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
・ 1週当たり（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり（ ）回程度
・ 3ヶ月当たり（ ）回 もしくは 6ヶ月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
・ 1週当たり 更に（ ）回 もしくは 1ヶ月当たり 更に（ ）回程度
・ 3ヶ月当たり 更に（ ）回 もしくは 6ヶ月当たり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。～ の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
母親（父親）教室、育児教室、離乳食教室、子育て教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
保健福祉プラザの情報・相談訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育ての総合相談窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
市発行の子育て支援情報誌（あやびい の子育て応援Book） 旧：あやせ子育てハンドブック“陽だ まり”	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
幼児2人乗り同乗用自転車レンタル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
おはなし会（中央公民館、地区センタ ー等）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

## 7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認定保育施設、その他の私設保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

土曜日	日曜・祝日
1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用 したい	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用 したい
利用したい 時間帯 ( )時から ( )時まで	利用したい 時間帯 ( )時から ( )時まで

問21-1 問21で、「3.月に1～2回は利用したい」に をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

問22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯 ( )時から ( )時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問22-1 問22で、「3.週に数日利用したい」に をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため       | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため             |
| 5. その他 ( )           |                       |

## 8 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 ( 平日の教育・保育を利用する方のみ )

問23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問16で1に をつけた方)にうかがいます。利用していらっしやらない方は、問24にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. あった 問23-1へ | 2. なかった 問24へ |
|---------------|--------------|

問23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに をつけ、それぞれの日数も ( )内に数字でご記入ください( 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。 )。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	( )日
イ. 母親が休んだ	( )日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	( )日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	( )日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	( )日
カ. ベビーシッターを利用した	( )日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )日
ク. その他 ( )	( )日

問23-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけ、日数についても ( )内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ( )日 問23-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない 問23-4へ                |

問23-3 問23-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業            |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業                         |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 ( )                                       |

問24へ

問23-4 問23-2で「2.利用したいとは思わない」に をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（	）

問24へ

問23-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい	（ ）日	問24へ
2. 休んで看ることは非常に難しい	問23-6へ	

問23-6 問23-5で「2.休んで看ることは非常に難しい」に をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（
	）

## 9 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。

問24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。なお、事業によっては、綾瀬市で実施されていないものもあります。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（	）（ ）日
7. 利用していない	

問24で「7.利用していない」と回答した方にうかがいます。

問24-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（	）

すべての方にかがいます。

問25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を( )内に数字でご記入ください。)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計( )日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	( )日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	( )日
ウ. 不定期の就労	( )日
エ. その他( )	( )日
2. 利用する必要はない	問26へ

問25-1 問25で「1.利用したい」に をつけた方にかがいます。問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:認定保育施設・その他の私設保育施設)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他( )

すべての方にかがいます。

問26 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	( )泊
	イ.短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	( )泊
	ウ.イ以外の保育事業(認定保育施設・その他の私設保育施設、ベビーシッター等)を利用した	( )泊
	エ.仕方なく子どもを同行させた	( )泊
	オ.仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )泊
	カ.その他( )	( )泊
2. なかった		

問26で「1. あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。

ア.以外を選択した方は 問27へ

問26-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに をつけてください。

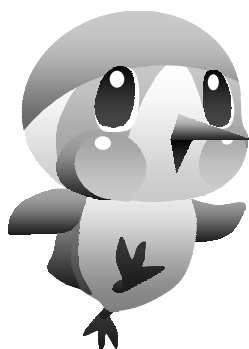
1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

**10 宛名のお子さんが5歳以上である方(平成31年4月1日までに5歳になる方も含む)に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。**

5歳未満の方は、問30へ

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)になった時、また、高学年(4~6年生)になった時、それぞれどのような場所で放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに        をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」(学童保育)の場合には、利用を希望する時間も(        )内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。「放課後児童クラブ」...保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活(学童保育)        の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

低学年(1~3年生)		高学年(4~6年生)	
1. 自宅	週( <u>      </u> )日くらい	1. 自宅	週( <u>      </u> )日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週( <u>      </u> )日くらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週( <u>      </u> )日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週( <u>      </u> )日くらい	3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週( <u>      </u> )日くらい
4. 児童館	週( <u>      </u> )日くらい	4. 児童館	週( <u>      </u> )日くらい
5. 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)	週( <u>      </u> )日くらい	5. 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)	週( <u>      </u> )日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週( <u>      </u> )日くらい 放課後から ( <u>      </u> )時まで	6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週( <u>      </u> )日くらい 放課後から ( <u>      </u> )時まで
7. 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ	週( <u>      </u> )日くらい	7. 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ	週( <u>      </u> )日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週( <u>      </u> )日くらい	8. ファミリー・サポート・センター	週( <u>      </u> )日くらい
9. 公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館	週( <u>      </u> )日くらい	9. 公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館	週( <u>      </u> )日くらい
10. 公園	週( <u>      </u> )日くらい	10. 公園	週( <u>      </u> )日くらい
11. その他【具体的に記載】 ( <u>      </u> )	週( <u>      </u> )日くらい	11. その他【具体的に記載】 ( <u>      </u> )	週( <u>      </u> )日くらい



問 28 問 27 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に つけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、「土曜日」と「日曜日・祝日」に放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに つけてください。また利用したい時間帯を、( )内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇨	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		( )時から( )時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇨	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		( )時から( )時まで
3. 利用する必要はない		

宛名のお子さんが5歳以上である方(平成31年4月1日までに5歳になる方も含む)、すべての方にうかがいます。

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんが夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに つけてください。また利用したい時間帯を、( )内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇨	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		( )時から( )時まで
3. 利用する必要はない		

## 11 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに つけ、該当する( )内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親(いずれかに )	父親(いずれかに )
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由 (下から番号を選んで記入)(いくつでも)	取得していない理由 (下から番号を選んで記入)(いくつでも)
( )	( )

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	
15. その他( )	

問 30- 1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

1 . 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2 . 育児休業給付のみ知っていた
3 . 保険料免除のみ知っていた
4 . 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

該当しない方は、問31へ

問 30- 2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに をつけてください。

母親	父親
1 . 育児休業取得後、職場に復帰した	1 . 育児休業取得後、職場に復帰した
2 . 現在も育児休業中である	2 . 現在も育児休業中である
3 . 育児休業中に離職した	3 . 育児休業中に離職した

問30- 2で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30- 3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親、父親それぞれについて、どちらか 1 つに をつけてください。年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～ 2 月頃復帰して一時的に認定保育施設・その他の私設保育施設に入所した場合なども「1 .」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1 .」を選択してください。

母親	父親
1 . 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1 . 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2 . それ以外だった	2 . それ以外だった

問 30- 4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、（ ）内に数字でご記入ください。

母親	父親
実際の取得期間（ ）歳（ ）ヶ月	実際の取得期間（ ）歳（ ）ヶ月
希 望 （ ）歳（ ）ヶ月	希 望 （ ）歳（ ）ヶ月

問 30- 5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、（ ）内に数字でご記入ください。

母親	父親
（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月



問30- 4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問30- 6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

( 1 ) 「希望」より早く復帰した方 母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに をつけてください。

母親	父親
1 . 希望する保育所に入るため	1 . 希望する保育所に入るため
2 . 配偶者や家族の希望があったため	2 . 配偶者や家族の希望があったため
3 . 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3 . 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4 . 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 . 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 . その他 ( )	5 . その他 ( )

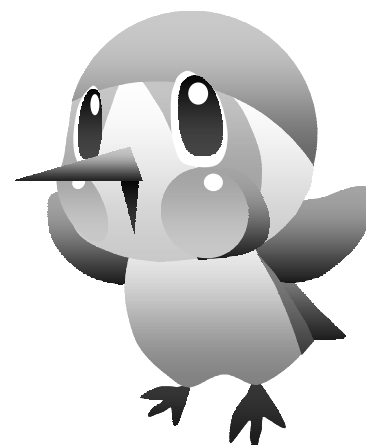
( 2 ) 「希望」より遅く復帰した方 母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに をつけてください。

母親	父親
1 . 希望する保育所に入れなかったため	1 . 希望する保育所に入れなかったため
2 . 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2 . 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 . 配偶者や家族の希望があったため	3 . 配偶者や家族の希望があったため
4 . 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4 . 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 . 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 . 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 . その他 ( )	6 . その他 ( )

問30- 2 で「 1 . 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30- 7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに をつけてください。

母親	父親
1 . 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかったが、もともと短時間勤務だった)	1 . 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかったが、もともと短時間勤務だった)
2 . 利用した	2 . 利用した
3 . 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	3 . 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)



問30-7で「3.利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。母親、父親それぞれについて、当てはまる理由をすべてに をつけてください。

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他( )	10. その他( )

問30-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1つに をつけてください。

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

すべての方にうかがいます。

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に 1つに をつけてください。

満足度が低い	←—————→	満足度が高い
1	2                      3                      4                      5	

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

## 【用語の説明】

用 語	説 明	綾瀬市での実施状況
幼稚園	原則、満3歳以上で就学前までの幼児を対象とし、学年単位で1年ないし3年の教育期間、1日4時間を標準に、毎学年39週以上の幼児教育を行っています。	市内には合計9園の私立幼稚園があります。 綾瀬・綾瀬こぼと・綾瀬すぎの子・綾瀬中央・綾瀬ゆたか・春日・ドレーパー記念・綾西・綾南
幼稚園の預かり保育	地域の実態や保護者の希望に応じ、規定の教育時間の前後（早朝や午後の時間帯）に教育活動を行っています。	上記私立幼稚園9園で実施。時間帯や保育料は園により異なります。
認可保育所 （保育園）	国の定める基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた施設です。一般には「保育園」の名称が使われています。	市内には合計11園の認可保育所があります。 公立2園：綾南・大上 私立9園：つぼみ・吉岡・おとぎ・深谷・さくらチャイルドセンター・綾瀬いずみ(あーす館)・ビッピーことり・綾瀬ゆめっこ・かえでチャイルドセンター
認定こども園	保育施設と幼稚園が一体化した、就学前の子どもに幼児教育と保育の双方を提供する施設です。	現在市内にはありません。
事業所内保育施設	会社や工場の従業員、病院の看護師などの子どものため、職場内や近くに設置される保育施設です。	市内には、企業内保育施設が2施設、病院内保育施設が2施設あります。
認定（認証）保育施設	認可は受けていないものの、一定の基準を満たした私設保育施設として自治体が認定（認証）する施設です。	現在市内にはありません。
その他の私設保育施設	都道府県等の認可を受けていない保育施設（認定（認証）保育施設を除く）の総称です。	現在市内にはありません。
小規模保育施設	新制度で新たに位置付けられた保育事業で、市が認可します。定員は6人～19人、3歳未満のお子さんが利用できます。	現在市内にはありません。
家庭的保育 （保育ママ）	市町村が行う研修を修了した保育士や保育士と同等の知識経験を有する保育者の自宅で5人以下のお子さんを預かる事業です。利用できるのは3歳未満のお子さんです。	現在市内にはありません。
居宅訪問型保育	新制度で新たに位置付けられた保育事業で、家庭的保育を実施する保育者が、保育を必要とするお子さんの居宅において保育を行う事業です。利用できるのは3歳未満のお子さんです。	現在市内にはありません。
ファミリー・サポート ・センター	子育ての相互援助活動を行う地域住民による会員組織です。援助を受けたい人（利用会員）と提供できる人（援助会員）が登録をして、援助会員宅での児童の預かりや、保育所・幼稚園等への送迎などのサービス（有料）を受けることができます。	平成17年から事業を開始しています。平成30年4月1日からは保健福祉プラザ子育て支援センター内に事務局を設置しています。 サービスの利用時間：月～土6時30分～20時
地域子育て支援拠点 事業	子育て家庭に対する相談や子育てサークルの育成、地域の保育資源等の情報提供などを行う子育て支援拠点で、【子育て支援センター】事業と呼ばれます。また、乳幼児（特に0～3歳）を持つ子育て中の親子の交流、つどいの場を提供する【つどいの広場】事業を実施している自治体もあります。	保健福祉プラザに子育て支援センター（子育て支援拠点）を設置し、綾南保育園及び大上保育園にそれぞれ子育て支援センター綾南サロン室、子育て支援センター大上サロン室を併設し、子育てサロンや移動サロンを運営しています。つどいの広場は現在市内にはありません。

用語	説明	綾瀬市での実施状況
保育園での一時預かり	保護者の急な病気や入院などのため、緊急的に保育が必要となる場合や、育児疲れの解消など私的な理由のため、一時的に保育が必要となる場合にお子さんを預かる事業です。	市内認可保育所6園で実施。 公立2園：綾南・大上 私立4園：おとぎ・さくらチャイルドセンター・綾瀬いずみ・綾瀬ゆめっこ
病児・病後児保育	お子さんが病氣中または病氣の回復期にあり、かつ当面病狀の急変が認められない場合において、保護者の就労等の都合により家庭で保育を行うことが困難なお子さんを一時的に預かるサービスです。	現在市内にはありません。
夜間養護等事業 (トワイライトステイ)	保護者の仕事等の理由により、夜間や休日に家庭における養育が一時的に困難となった場合、児童養護施設等でお子さんを預かる事業です。	現在市内にはありません。
児童館	子どもたちや青少年健全育成団体などが、それぞれの地域で自由に気軽に利用できる施設です。	市内には寺尾児童館、小園児童館、ながぐつ児童館(綾西地区)の3つがあり、子育ての情報交換ができる「子育てパーク」を平日の午前中に開催しています。また、定期的に保健師による健康相談を行っています。
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合などに、指導員のもとでお子さんに「家庭に代わる生活の場」を提供するものです。	各クラブの保護者会等が運営する「わんぱく・(仮)わんぱく2・のびっこ・げんき・わくわく・すこやか・ひまわり・たんけん・おとぎ・にこにこ・綾瀬いずみ・たんぼぼ・あおぞら」の計13箇所の民設放課後児童クラブと、市が民間事業者に運営を委託している「綾瀬小・ながぐつ・落合小・土欄小」の計4箇所の公設放課後児童クラブがあり、月～土曜日と学校の長期休業日(春・夏・冬休みなど)の概ね20時まで開所しています。
放課後子ども教室 (あやせっ子ふれあい プラザ)	小学校に通う全ての児童を対象として、地域の方々の協力を得て、安全・安心な子どもたちの「遊び場」を提供するものです。	市内の小学校全10校において「あやせっ子ふれあいプラザ」を月～金曜日まで、季節によって多少異なりますが、概ね放課後から16時30分～17時頃まで開設しています。
幼児2人乗り同乗用 自転車レンタル事業	幼児2人同乗用自転車(3人乗り電動アシスト付自転車)の貸出事業で、申込期間等は毎年1月頃の広報あやせでお知らせしています。貸出台数は50台。応募多数の場合は抽選となります。貸出期間は1年間(1ヶ月を単位として、12ヶ月以内)。利用料金は無料ですが、返却時には点検、整備費用等がかかります。	申込資格は、次の全てを満たす方。 市内在住で満16歳以上 1歳以上6歳未満の子どもを2人以上養育 自転車の適正な保管場所を確保できる 市税及び認可保育園の保育料を滞納していない。貸出条件は、市が主催する自転車安全運転講習会の参加。